

青葉通

エリアフォーラム

2026.2.3

仙台
Tokyo
Osaka
Fukuoka

● 東京は、どんな都市？

中国・ASEAN・欧米も東京ほど極端集中ではない
・シンガポールは福岡と同規模の都市圏人口
・シアトルもオースティンも都市圏人口は多くない。

東京を見て **都市は大きくなければいけない** と思い込んでいる。

● 仙台(都市圏)の規模の世界都市は？

この都市の共通点は？

地場産業がある
大企業の本社がある

どの都市も地場産業大企業ない
セカンドハウスを持ちたい

世界のエグゼクティブが(こっそり)住んでいる。

エグゼクティブが **まぎは住む場** に → 企業が作り産業を生み観光資源

リードするのは、行政、企業、大学、住民

日本の主要都市の位置づけは？

東京 政府の所在地、企業の拠点
京都 日本文化のふるさと、製造業の拠点
札幌 北海道の行政中心、食と観光
広島 世界平和のシンボル
福岡アジアの玄関口

…仙台はなににもない(仙台のひとには言う)

いや！仙台は**「首都圏のスーパーサブ」**です！(誉め)

先例
学術：東北大学、オースティン
企業：アイリスオーヤマ、中経模範

「免震都市、仙台」として真価発揮へ

東日本大震災で証明した強さ
・地盤のやさしさ
・物流のつながり

報告

青葉通の生い立ち / これまでの取り組み

● 1946 戦災復興計画の策定(復興のシンボルとしての青葉通の整備)

● 1947 河北新報社の市民公募で「青葉通」に決定

● 1950~65 ケヤキを植栽 中井

● 2002 地下鉄東西線の整備を契機とした、まちづくり意識 ⑥
青葉通再整備の検討開始

● 2013~17 にぎわい、空間創出などを目的とした、**道路整備**
東二番丁~西公園通の区間 3→2車線に。

● 2015 青葉通往來並み形成ガイドライン策定 ← 協議会が「魅力ある景観形成」を提案

● 2018 青葉通 まちづくりビジョン ← 協議会が作成し、仙台市へ提言

● 2022 社会実験 MOVE MOVE
未来ビジョン 道路空間の活用効果、回遊の創出、交通への影響の検証
策定に向けて

● 2025 青葉通仙台駅前エリア未来ビジョン
~このエリアで目指すべき理念~
・グランド・デザイン・バリエーション
・ヒューマン・デザインを大切に考える

2008年~
地下鉄東西線の建設を契機に
地元関係者と協議を開始。
「まちなみに関するルール」づくり

2012年
青葉通まちづくり協議会(51社)

協議会が作成し、仙台市へ提言

青葉通まちづくりビジョン

地元発覚で青葉通をどうしていくか描いた。
その将来像の実現に向けて、社会実験を実施(煌教)

今年度から 青葉通空間構想の策定に向けて 検討

空間構想の検討がなぜ必要なのか。

・「顔」であるべき仙台駅前エリアの治道開闢の停滞、景観力の減退。
・一方で、眺望仙台ビルなど民間開発が動きがある。
・青葉通(駅前通~東二番丁通区間)の道路空間整備の検討

「まちづくりの想い」を汲んだ治道開闢を進めていただくために
青葉通の個性や強みを生かした仙台の顔として
公民一体の空間の考え方をまとめ共有することが必要。
つまり、既存のデザイン等をさらに具体化する → コンセプトや 情景のわかるイラストなど

空間構想の策定に向けて

→ コンセプトとイメージの状況報告

「公民みなで力を合わせる」ために

・好き嫌いや感覚だけで話さない
・データ分析を根拠に誰もが立ち返って考えられる

青葉通の分析
~2つの切り口~

① 人の活動(住む、はたらく、移動)
(例) 4500世帯、7万人が住み、
全人口の30%住み、7%住み

② 空間(回と地)
(例) 建物の内わけ
40%商業、30%商業、20%住宅
一番町エリアは馬場より商業⑥

抱うべき役割

ひととまが 背骨として
「新しい価値」を生み出す場と
なることを目指す

「杜の都」に象徴される
「人の手が大切なものを未来につなぐ精神」を持って、
青葉通を都心の背骨としてまちをつなぐ
仙台、東北を牽引する「新しい価値」を生み出すエリアを目指す

データ分析やWGの議論を元にまとめた(素案)

パネルディスカッション

青葉通の課題と可能性

他都市はつめこみすぎた
・ウォークアビリティ-仙台(高)
(生活の質)
・夏すずしく、冬は雪④

データ分析を見るとわかる
元々商人的なまち(本・事務所(業務)/
短い通りの中に
仙台の多様性がある。まちの構造
・「背骨」そうになっている。

地産エコノミスト
藤谷氏

色んな機能がみつまっているが
仙台馬場から西公園まで1.4キロもある
青葉通全体をつなぐコンセプトがない。

仙台馬場の西口と東口にはバリエーションが
一番町などの街中の人が集まっている。
都市型コンパクトシティのようにしつこくしているか？
・商業の売り上げではない価値を
生み出していく分岐点。

「まちを良くしていきたい」というのは共通の想い。
大義と魂胆も
持てまちづくりしよう。
(後藤氏)
・公も民も大義の共有は前提。
・民間の皆さんに「大きな魂胆」を
もって、まちづくりをやりたい、
と言ってもらえるように、
行政としては進めたい必要がある

20年前は
福岡の魅力は、伝わりやすかった。
「暮らしやすさ」というのを起点に
信じて結果を立てて、皆が団結し
20年かけてブレイクした。

仙台(東北人)の真面目な人
いまこそ「火をつけてほしい」
天神ビックバン
実は「公園を良くしよう」
から始まった。市民が期待感を持てた。

青葉通のことを考えることは
仙台のことを考えることに直結している
公民連携、全体をどう巻き込むのか。

仙台は「1人のスーパーがいる」のではなく
「一人ひとりがやれること」丁寧にやっていく
真面目な感じはないだろうか。
都心全体として他とも議論、協力。
(大小、新旧まちづくりがよい)

青葉通だけでなく定禅寺通などとも
お互いの個性について話すことと
青葉通の仙台における役割が見えるのではないかと。

「魂胆」こたんと /
なぜ馬場周辺ではなく西公園あたりの
テコ入れが必要なのか？
西公園がおもしろくなり、人が集まると、
「間」の価値が上がって来る。
青葉通や一番町の価値が上がる

(東京生まれ)
仙台への移住してよかった！
「満員電車」の通学通勤ない。
(名取在住)
仙台馬場、仙台市へ来るのは
目的があって行く場所。
ついでに立ち寄りずらい
目的が終った、帰る、いる。
武藤氏

本日のようにフォーラムを開催したり
ふらっと参加できる場がない。
人が多い馬場前になってしまっている。

福岡はどうか
「自分たちのまち」は自分たちでつくる
一緒に歩みを進めるがスタート。
足並みを揃えるがスタート。
「まち」を大きく広げていくには
「まち」の福岡でつくる仲間だ。

市民Aさん
福岡はどうか
「自分たちのまち」は自分たちでつくる
一緒に歩みを進めるがスタート。
足並みを揃えるがスタート。
「まち」を大きく広げていくには
「まち」の福岡でつくる仲間だ。

市民Bさん
「まち」の福岡でつくる仲間だ。
「まち」を大きく広げていくには
「まち」の福岡でつくる仲間だ。